

転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療における CBCT 画像の画質評価

1. 研究の対象

2019 年～2025 年に当院で転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療を受けられた方とこれから受けられる方

2. 研究目的・方法

転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療では腫瘍から 1mm 広げた標的に対し、一度に高線量の放射線を照射するので、数ミリ単位の正確な位置合わせが必要になります。位置合わせには Cone-beam CT (CBCT) 画像を撮影し、頭蓋骨だけではなく、脳の軟部組織や腫瘍を確認します。しかしながら、CBCT 画像ではノイズやアーチファクトなどにより、画質が劣化しそれが見えにくい場合があります。よって、本研究では転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療の位置合わせに使われる CBCT 画像の画質を評価します。

2019 年から 2025 年までの間に大阪国際がんセンターで実施した脳腫瘍に対する定位放射線治療 25 症例の治療計画用 CT 画像と CBCT 画像を用います。CBCT 画像に対して CT 値、ノイズ、不均一性、コントラストなどを測定し、それらの評価指標と CBCT 画像の中心から脳の中心までの距離との関係を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：臨床で使用された放射線治療情報と治療計画用 CT 画像および画像誘導放射線治療用 CBCT 画像等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 木原彩花

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6495-1181

-----以上